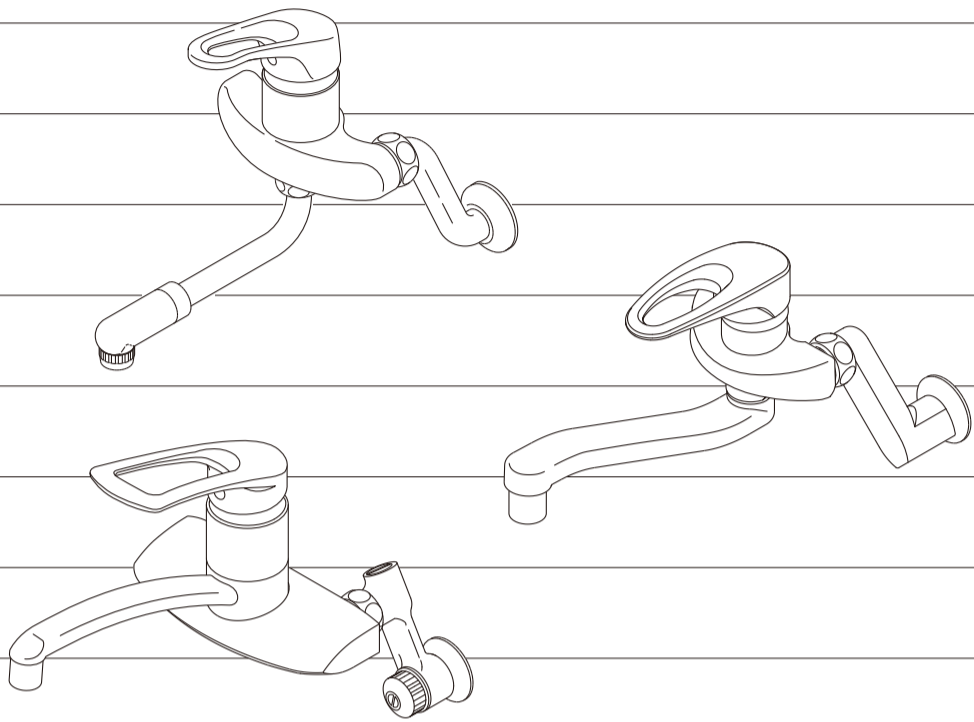




シングルレバー 混合栓

壁付タイプ

取扱説明書



使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この取扱説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせて使用してください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

製品同梱明細

■この取扱説明書の製品同梱明細は各機種ごとに表示しておりますので、施工される際に各部材を確認の上、施工説明書と合わせて使用してください。

| 品名 | 本体 | ハンドル 2ラ コン 〜ク | 座 2 コ 〜金 | 吐水 パイプまたは スパウト | オリ フィ ス |
|----------------|----|------------------------|-------------------|----------------------|---------------|
| 192-168(寒冷地対応) | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-301 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 192-301K | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 192-305 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 192-305K | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 192-307 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-314 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 192-314K | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 192-315 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-315K | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-316 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-316K | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-322 | ○ | ○ | ○ | ○*1 | — |
| 192-322K | ○ | ○ | ○ | ○*1 | — |
| 192-332 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-332-220 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 192-336 | ○ | ○ | ○ | ○ | — |

*1) 本体に取付けた状態で同梱しています。

* 上記部材に加えて、
● 取扱説明書 ● 施工説明書 ● 安全上のご注意 ● 六角レンチ ● 保証書
を同梱しています。

各部のなまえ

192-301 シングルレバー混合栓

192-301K(寒冷地仕様)

*給水圧が高い場合に使用します。
取付けについては、「こんな時には…」
●オリフィスの取付方法を参照してください。

192-314 シングルレバー混合栓

192-314K(寒冷地仕様)

*給水圧が高い場合に使用します。
取付けについては、「こんな時には…」
●オリフィスの取付方法を参照してください。

192-322 シングルレバー混合栓

192-322K(寒冷地仕様)

*表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。

使用方法

●ハンドルの操作方法(各品番共通)

吐水・止水

ハンドルを上げると「吐水」、下げると「止水」します。

湯・水

ハンドルを上げた状態で真ん中より左にまわすと「湯」、右にまわすと「水」が出ます。
*水から湯に変わる時、「カチッ」とクリック感があります。

必ず実行

- 湯を使用する際は、必ずハンドルを水側から開栓し、その後ゆっくり湯側へまわし、お好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
- ハンドルはゆっくり操作してください。急に操作しますとウォーターハンマー現象*2)を起し、配管から水もれする恐れがあります。

*2)「ドン」と大きな音がする現象のことです。水栓の不具合ではありません。

お手入れのしかた

●寒冷地用の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、使用後に水抜きを行ってください。

- ①配管の水抜き栓を操作して、水が出ないようにします。
- ②ハンドルを中央位置で上げ、吐水状態にします。
- ③クランクから水抜き弁またはローレット部を湯・水側とも取外し、水を抜きます。混合栓本体下部、スパウト下部にも水抜き弁がついている機種は、ここも外して水抜きを行います。
- *機種により、水抜き弁の位置は異なります。
- *ローレット部を外す際に水量調節弁が外れる場合があります。その時は、水量調節弁をローレット部につけた状態で、元の位置に戻してください。
- *水抜き弁は水抜き以外の目的で開けないでください。
- ④ハンドルを湯側いっぱい上げて、水を抜きます。
- ⑤吐水口(パイプまたはスパウト)から水が出なくなったら、水側いっぱい上げて水を抜きます。
- *水抜き後は必ずゆるめた箇所を元に戻してください。
- *水栓に解氷機能は絶対に使用しないでください。

注意

湯側の水抜きをする際は、混合栓本体やクランク、水抜き弁が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますので注意してください。やけどの恐れがあります。

裏面へ続く➡

お手入れのしかた(つづき)

●一般地用の凍結防止方法

凍結の恐れがある場合は、下記内容の予防を行ってください。

凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。

- 配管を保温する。
- 水栓から水を少量出しておく。(目安として1分間に牛乳ビン1本分程度)

*保証期間内でも、凍結による破損の修理は有料になりますので、ご了承ください。



●器具のお手入れ

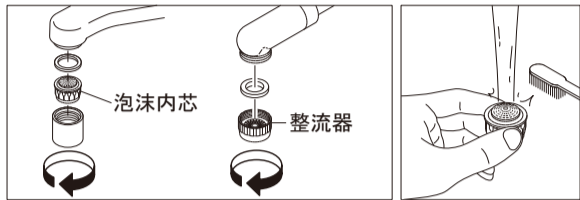


いつまでも美しくお使いいただくために。

- 水栓器具の金属部は…ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしこませた布でみがいでください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

クレンザーなどの目の粗い洗剤やたわし、または酸性洗剤・ベンジン・油などの使用は、金属部を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので注意してください。

●泡沫内芯または整流器のお掃除

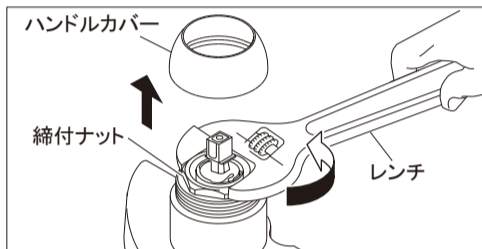
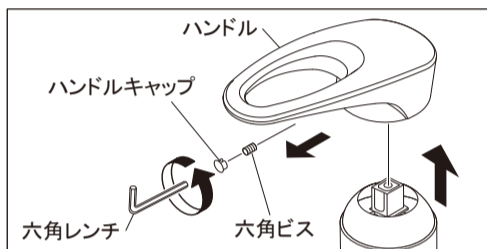


お願い

最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯または整流器を取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。

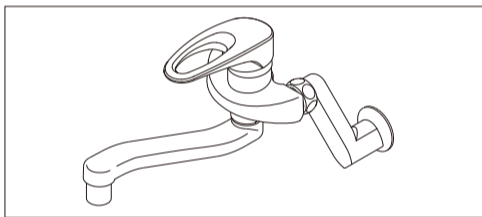
カートリッジの交換方法

*作業の前に、必ず止水栓または元栓を閉めて止水してください。



①ハンドルキャップを取外します。付属の「六角レンチ」で六角ビスをゆるめ、ハンドルを上へ取外します。
*六角ビスはなくさないようにしてください。

②ハンドルカバーを左にまわして取外します。締付ナットに「レンチ」などをかけ、左にまわして取外します。



③古いカートリッジを抜き取り、新しいカートリッジの底にベースパッキンがついているのを確認してから、底の凸部が混合栓本体の凹部に合うように差込んでください。

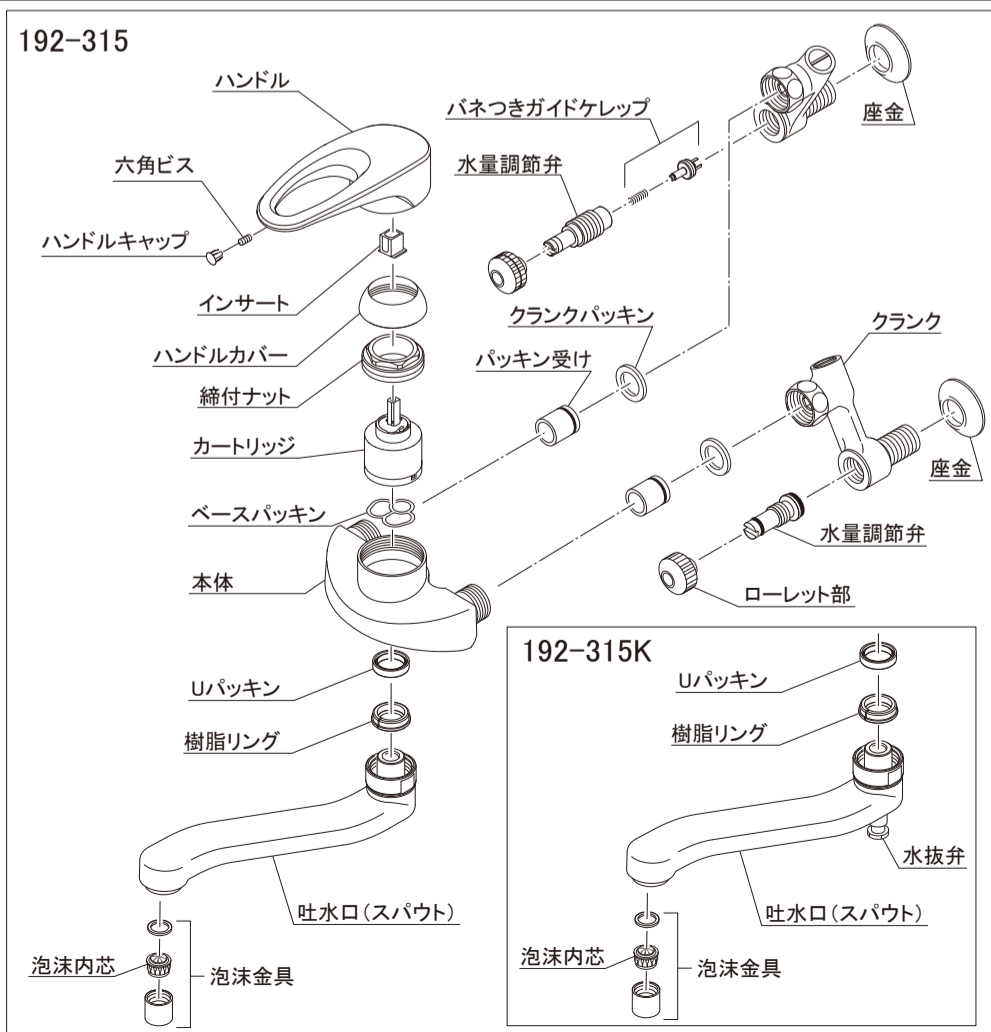
④①～②の逆の手順で組直してください。

*取付後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず漏水がないかを確認してください。

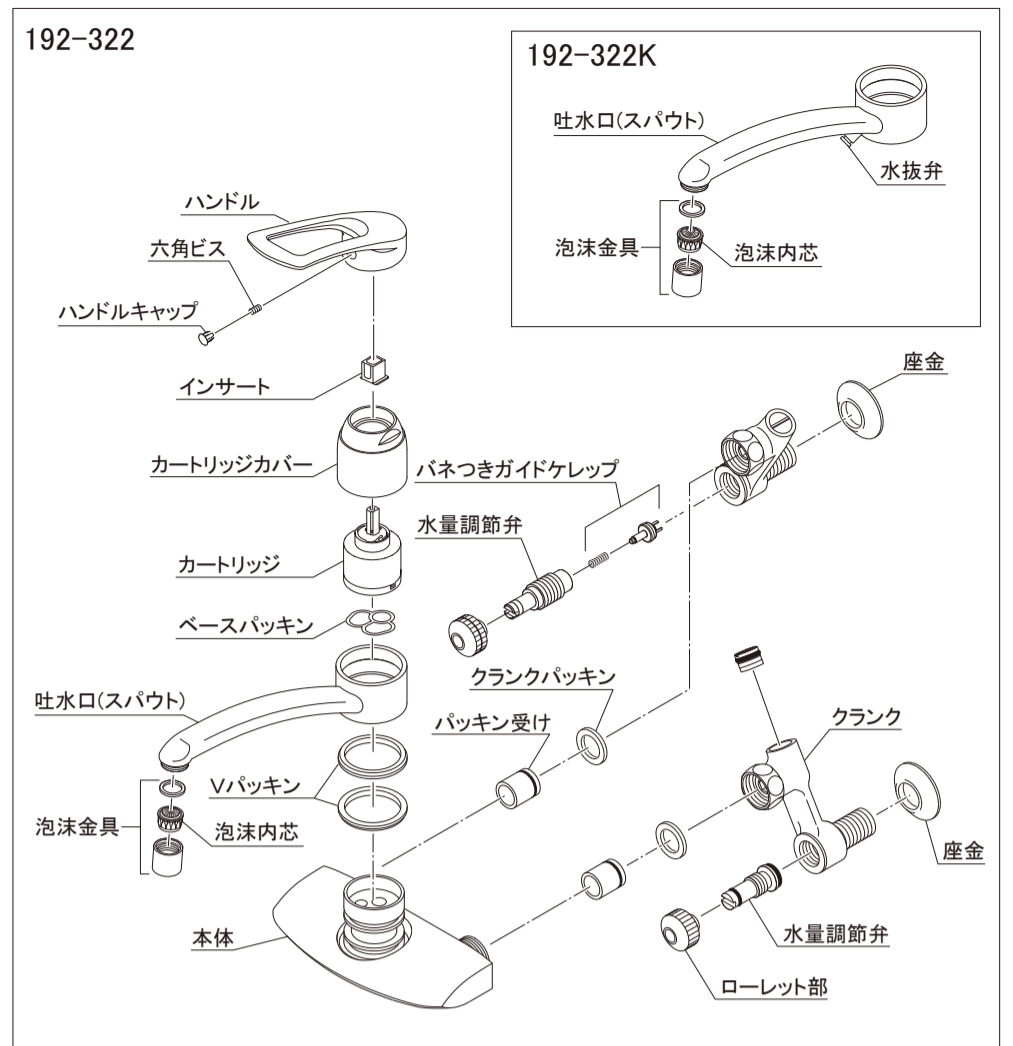
取付時の注意

- ハンドル内にインサートが残っている場合は、インサートを取外してください。
- カートリッジ底にベースパッキンがあることを確認してください。
- カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部に合わせてください。
- 締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付け過ぎるとハンドルが操作しづらくなります。)

分解図



分解図(つづき)



*表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
*製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

こんな時には…簡単な点検と対処

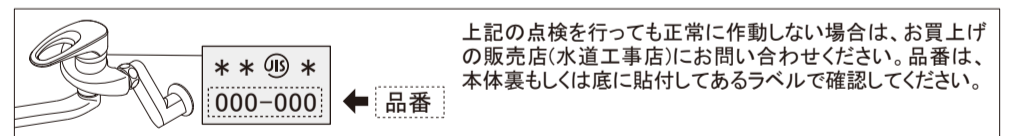
機能が正常に動かない時は、修理を依頼される前に上記分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

| 現象 | 原因 | 対処のしかた | |
|----------|--|---|--|
| 温度調整不良 | 高温しか出ない | ●水側の水量調節弁が閉まっている ●給水圧より給湯圧の方が高い ●混合栓本体の水側にオリフィスが入っている | ●水側の水量調節弁を調節する ●湯側の水量調節弁を調節する ●オリフィスを抜取る |
| | 低温しか出ない | ●必要とする吐水温度より給湯温度が10℃以上高いかどうか、また、給水圧力に大きな変化はないかを確認する(別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」を参照してください) ●湯側の水量調節弁が閉まっている ●給湯圧より給水圧の方が高い | ●湯側の水量調節弁を調節する ●水側の水量調節弁を調節する ●混合栓本体の水側にオリフィスを入れる(下記「●オリフィスの取付方法」を参照してください。) |
| 吐水不良 | 吐水量が少ない | ●湯・水側の水量調節弁が閉まっている ●泡沫内芯または整流器が目詰まり ●本体に湯・水がきていない | ●適正水量になるまで水量調節弁を開く ●泡沫内芯または整流器を掃除する ●湯・水の元バルブを開く |
| | 全く吐水しない | ●湯・水側の水量調節弁が閉まっている | ●湯・水の水量調節弁を開く |
| 止水不良 | 止水できない | ●カートリッジの異常 | ●カートリッジを交換する |
| | ハンドル下より水もれ | ●締付ナットがゆるい ●カートリッジの異常 | ●締付ナットを締める ●カートリッジを交換する |
| 操作しづらい | ●吐水口回転部付近から水もれ | ●Uパッキン・Vパッキンの磨耗または損傷 | ●Uパッキン・Vパッキンを交換する |
| ハンドルがかたい | ●ハンドルのガタつき ●締付ナットの締過ぎ ●カートリッジの異常 | ●付属の「六角レンチ」でハンドルの六角ビスを締直す ●締付ナットを適度な力で締直す ●カートリッジを交換する | |

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(工事店)にお問い合わせください。

分解禁止 本体内蔵のシングルレバーカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

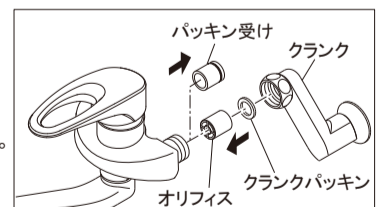
●修理を依頼されるときは



上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。品番は、本体裏もしくは底に貼付してあるラベルで確認してください。

●オリフィスの取付方法

- *給水圧が高い場合は、混合栓本体をクランクに取付ける前に右図を参考にオリフィスを取付けてください。混合栓本体の水側に入っているクランクパッキンとパッキン受けを取外してオリフィスをはめ込み、再度クランクパッキンを取付けます。
- *取付ける際は、オリフィスの向きに注意してください。穴径の小さい方が混合栓側になります。



ご購入店名(施工業者名)



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371
1217GF

M-A9972C

無断転載・複写を禁ず